

2022 年レーザー四国選手権大会

帆走指示書(SI)

[NP]の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議できないことを意味する。これは、規則 60.1(a)を変更している。

[SP]の表記は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは規則 63.1 および付則 A5 を変更している。

1 規則

1.1 本大会は『セーリング競技規則』(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。

2 帆走指示書の変更

2.1 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 09:00 までに掲示される。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 20:00 までに掲示される。

3 選手とのコミュニケーション

3.1 公式掲示及び諸連絡の掲示は、1階救護室の公式掲示板に掲示する。LINE オープンチャットも補助的な位置づけとして掲示を行う。公式掲示板における掲示板と順序や内容、掲示時刻が異なった場合には、1階救護室の公式掲示板が正式なものとなる。

3.2 LINE オープンチャットは QR コードをスキャンし参加できる。表示名を「セールナンバー_名前」とすること。例「145703_高松太郎」

3.3 [DP] 緊急の場合を除き、艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。ただし、航跡を記録する目的の GPS 装置については搭載してもよい。

4 行動規範

4.1 [DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発する信号は、クラブハウス2階北側に設置された掲揚ポールに掲揚する。

5.2 [NP][DP]音響 1 声と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後 30 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない



6 レース日程

6.1 レース日程は次のとおりとする。

		予告信号時間
8/20(土)	レーザークラス	13:00
	レーザーラジアルクラス	13:05
	レーザー4.7 クラス	13:10
引き続きレースを行う		
8/21(日)	レーザークラス	10:00
	レーザーラジアルクラス	10:05
	レーザー4.7 クラス	10:10
引き続きレースを行う		

6.2 最初のレースの予告信号の予定時刻は 13:00 である。

6.3 レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことができる。

6.4 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。

6.5 8月21日(日)には、14時30分より後に予告信号を発しない。

7 クラス旗

7.1 クラス旗は次の通りとする。

クラス	クラス旗
レーザークラス	レーザークラス旗(白色地)
レーザーラジアルクラス	レーザーラジアルクラス旗(緑色地)
レーザー4.7 クラス	レーザー4.7 クラス旗(黄色地)

8 レースエリア

8.1 レース・エリアは、高松市ヨット競技場沖合とする。SI 添付図①にレース・エリアの位置を示す

9 コース

9.1 添付資料②のコース図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2 予告信号以前に、レース委員会の信号船に、最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

10 マーク

10.1 マーク1、2は、オレンジ色の三角錐形ブイとする。

10.2 マーク 1b を黄色の球形ブイとする。

10.3 Offset マークをピンクの球形ブイとする。

10.4 スタート・マークおよびフィニッシュ・マークは、黄色の円柱形のブイとする。

10.5 新しいマークは、赤色の三角錐形ブイとする。

11 欠番

12 スタート

12.1 スタート・ラインは、レース委員会船上のオレンジ旗を掲揚しているポールと、スター

ト・マークのコース側との間とする。

12.2 [DP]他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・ラインから概ね 50m以内のスタート・エリアを回避しなければならない。

12.3 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに DNS と記録される。これは RRS5.1 と A5.2 を変更している。

13 コースの次のレグの変更

13.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13.2 ただし、レグの長さを変更する場合には、「-」もしくは「+」の掲示は行わない。これは RRS33 を変更している。

14 フィニッシュ

14.1 フィニッシュ・ラインは、レース委員会船上の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側の間とする。

15 ペナルティ方式

15.1 付則 P は適用しない。

16 タイムリミット

16.1 各クラスともタイムリミットとフィニッシュ・ウインド及びターゲットタイムは、次のとおりとする。

●マーク1 タイム・リミット 20 分

●レース・タイム・リミット 60 分

●フィニッシュ・ウインドウ 15 分

16.2 マーク1のタイムリミット内に 1 艇もマーク1を通過しなかった場合、レースは中止される。これは RRS62.1(a)を変更している。

16.3 フィニッシュ・ウインドウ内にフィニッシュしない艇は、審問なしに DNF と記載される。これは RRS35、A5.1、A5.2 を変更している。

17 審問要求

17.1 審問要求書はレース・オフィスで入手できる。抗議及び救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出しなければならない。

17.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。

17.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻 後 30 分以内に通告を掲示する。

17.4 審問はクラブハウス2階のプロテスト審問室にて公式掲示板に掲示した時刻に始められる。

17.5 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、

RRS61.1(b)に基づき艇に伝えるために掲示する。

18 得点

18.1 シリーズの成立には 1 レースを完了することが必要である。

18.2

(a)完了したレースが 4 レース未満だった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。

(b)完了したレースが 4 レース以上だった場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。

19 [NP][DP]安全規定

19.1 [チェックアウトとチェックインは以下のとおりとする。

19.1.1 レースに参加しようとする艇の艇長は、その日の 11 時 00 分から当該クラスの D 旗掲揚 10 分後までに、レース申告受付所にて、「出艇申告書」にサインしなければならない。

19.1.2 帰着した艇の艇長は、当該種目のレース終了後(引き続きのレースが行われた場合、そのレース終了後)、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分後までに、レース申告受付所にて、「帰着申告書」にサインをしなければならない。ただし、レース委員会の裁量により、この時間を延長することがある。

19.1.3 レースの中止または延期により帰着した場合も、中止または延期信号を発してから 60 分後までにチェックインを行わなければならない。中止または延期されたレースが再開される場合、再度チェックアウトを行わなければならない。

19.1.4 毎回、出艇申告の手続きに誤りのあった艇は確定順位の得点に 2 点を、帰着申告の手続きに誤りのあった艇は確定順位の得点に 1 点を、レース委員会により“STP”記録され、審問なしにペナルティーとして課せられる。

19.2 [DP]レースに参加(出艇)しない艇は、レース申告受付所に「リタイア報告書」を提出しなければならない。

19.3 [DP]海上でリタイアしようとする艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前に運営船にその旨を伝え、速やかにレース・エリアを離れること。リタイアした艇の艇長は、帰着後出来るだけ早くチェックインを行ったうえ、「リタイア報告書」をレース申告受付所に提出しなければならない。

19.4 [DP]レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

19.5 レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対し、リタイアの勧告および強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。これは RRS62.1(a)を変更している。

20 乗員の交代と装備の交換

20.1 競技者の交代はレース委員会の事前承諾なしでは許可されない。

20.2 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。

20.3 交換の要請は、最初の妥当な機会にテクニカル委員会に書面により行わなければ

ならない。

21 装備と計測のチェック

21.1 水上で艇またはボードはフィニッシュ後、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。陸上では、装備は、クラス規則とNoRに従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

22 欠番

23 運営船

23.1 運営船の概要はブリーフィングで通知する。

24 支援チーム

24.1 支援艇は、SI 5.2 に規定するいずれの種目の「D旗」も掲揚されていない場合、これに従うものとする。

24.2 支援チームは、その日に最初の離岸をするまでに、レース申告受付所にて、「支援チーム出艇申告書」にサインしなければならない。

24.3 帰着した支援艇は、その日の最終レースのレース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から60分後までにレース申告受付所にて「支援チーム帰着申告書」にサインしなければならない。

24.4 支援艇は、危険な状態にある艇からの救助要請により救助を行うか、レース委員会またはプロテスト委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発した後2分間までは、艇がレースをしているエリアの100m以上外側にいなければならない。

24.5 支援艇は、艇がレースをしているエリアの外側で競技者への飲食物およびごみの授受支援を行うことができる。

24.6 海上でレース委員会船から要請がある場合、支援艇はレースエリアに入り、レース艇の救助活動を行うことができる。

25 ごみの処分

25.1 ごみは支援艇または運営船に渡してもよい。

26 欠番

27 欠番

28 欠番

29 賞

29.1 賞は次のように与える。

レーザークラス	1位～2位	賞状および賞品
レーザーラジアルクラス	1位～2位	賞状および賞品
レーザー4.7クラス	1位～2位	賞状および賞品

ただし、参加艇数が8艇に満たないクラスは1位のみ賞状および賞品を与える。

30 リスクステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。なお、主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

31 保険

31.1 各参加艇は、有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

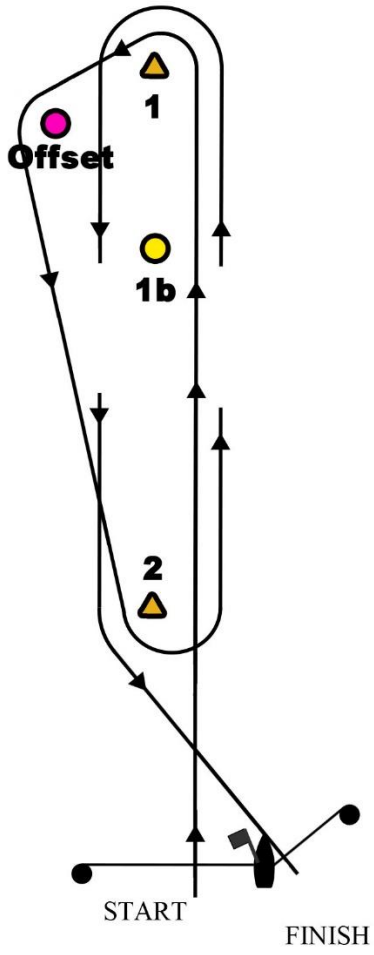
添付①

地理院地図
GSI Maps

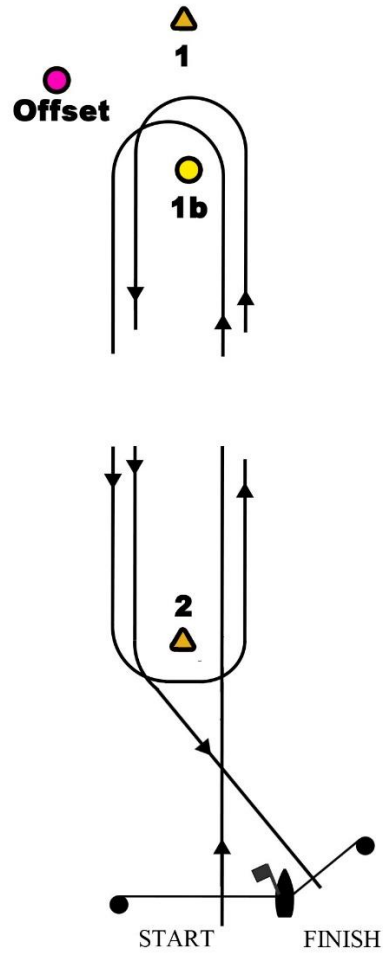
添付①レースエリア



添付②



レーザークラス・レーザーラジアルクラス
レーザー4.7クラス



Start-1-Offset-2-1-2-Finish
Start-1b-2-1-2-Finish